



明けましておめでとうございます

CTF 松阪会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。新型コロナウイルスがだいぶ落ち着いたと思ったらインフルエンザの流行、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ侵攻など、解決していません。早く終わって欲しいものです！今年は「巳年」ですね。蛇は古代から“再生”や“永遠”の象徴とされ、皮を脱ぎ捨てて新しい姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されているそうです。



第33回松阪市障がい者作品展

昨年12月6日、7日と2日間に亘って松阪市障害者福祉センターにおいて、松阪市内全体の障がい者作品展が開催されました。手芸や編み物、陶芸、書道、絵画、ぬり絵、写真ほかが出展され、大勢の方々が見学されて大変盛況でした。CTF 松阪のスタッフが毎週火曜日午前、お手伝いしています「障がい者対象個人向けパソコン講座」からも4名の方々がカレンダーや年賀状を出展して頂きました。



KY様の民謡歌唱



SY様 MM様 KY様 HO様



長谷寺の大香炉

E. M

長谷寺は奈良県桜井市初瀬にある真言宗豊山派の総本山、本堂に立たれるご本尊 十一面観世音菩薩の前に置かれている大香炉は、松阪の豪商 小津清左衛門家の第6代当主 長郷が1755年に寄進したものです。

確かに香炉正面には「小津清左衛門」の文字がくっきりと！



電話帳ナビの便利さとその危険性



最近、スマートフォンを使っていると「電話帳ナビ」というアプリを耳にすることが多くなりました。このアプリは、着信時に相手の情報を表示したり、迷惑電話を自動で判定したりする機能を持っています。特に、知らない番号からの着信が多い現代において、非常に便利なツールとして注目されています。しかし、その便利さの裏には、いくつかの危険性も潜んでいるといわれています。



電話帳ナビの基本機能

● 着信時の情報表示

電話帳ナビの最大の特徴は、着信時に相手の情報を表示することです。例えば、知らない番号からの電話がかかってきた際に、その番号がどのような業種のものであるか、または迷惑電話であるかを瞬時に判断できます。

● 迷惑電話の自動判定

このアプリは、迷惑電話や詐欺電話を自動で判定する機能も備えています。警察機関などからの情報をもとに、過去に報告された迷惑電話の番号をデータベースに持っており、これに基づいて警告を出します。



● 履歴からの情報確認

さらに、電話帳ナビは着信履歴や発信履歴からも相手先の情報を確認できるため、過去にかかってきた電話の詳細を簡単に調べることができます。これにより、重要な連絡を見逃すことが少なくなります。

電話帳ナビのメリットと危険性

電話帳ナビを利用することで、知らない番号からの電話に対する不安が軽減されます。特に、詐欺電話や迷惑電話が多い昨今、安心して電話を受けられるのが大きなメリットです。

しかし、電話帳ナビには危険性も存在します。まず、プライバシーの懸念です。アプリが収集する情報には、ユーザーの電話番号や通話履歴が含まれます。これらの情報がどのように管理されているのか、また第三者に渡る可能性があるのかは、ユーザーにとって大きな不安要素です。

次に、情報の正確性についても注意が必要です。電話帳ナビは、過去のデータをもとに情報を提供しますが、必ずしも正確であるとは限りません。誤った情報が表示されることで、重要な電話を無視してしまうリスクも考えられます。

電話帳ナビは、便利な機能を持つ一方で、プライバシーや情報の正確性といった危険性も抱えています。利用する際は、これらのメリットとデメリットをしっかりと理解し、自分に合った使い方を見つけることが大切です。便利さと危険性を天秤にかけながら、賢く利用していきましょう。



活動報告

【12月】の活動報告

障がい者対象個人向けパソコン講座

(19日、26日)



活動予定

【1月】の活動予定

障がい者対象個人向けパソコン講座

7日、14日21日、28日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30



紫式部の時代の記録はあるのかな？

紫式部の正確な生年は不明であるが、一般的には970年から978年の間に生まれたとされておるそうじゃ。また清少納言の正確な生年もやはり不明であるが、岸上慎二氏は966年頃に生まれたと推定しておるのう。当時の貴族社会では、男性貴族については本人並びに他の貴族が詳細な日記を書いており、生年月日だけでなく、いつ誰が何をしたかが詳細に記録されておるが、男性貴族の配偶者やその娘たちについてはほとんど記録に残ってないのじゃ。

例えば、藤原実資（さねすけ）という偉い貴族がおった。NHK大河ドラマであのお笑いトリオ「ロバート」の秋山竜次さんが演じたが演技がうまかったのう。そのほか、主人公・まひろ（吉高由里子）の従者・乙丸役で、お笑いコンビ・カラテカの矢部太郎さん、藤原斉信役ではんにゃの金田哲さんが出演したが、芸人3人の名演技に、ネットでは称賛の声が相次いだそうじゃ。

『小右記（しょうゆうき）』は、その藤原実資の日記で、全61巻の全文が漢文で書かれておる。天元元年（978年）頃から書かれたとされるが、現存するのは天元5年（982年）～長元5年（1032年）の部分であり、残念ながら途中の欠巻も多いとのこと。

60年間上級公卿として朝廷に参画した実資による政治や宮廷の儀式、故実の詳細な記録が書かれたもので、平安時代、特に藤原道長・頼通の全盛時代の社会を知るうえで大変重要な史料であるのう。一日の記録が長くて、内容も具体的で実資の感想も含めて書かれているのが特色である。人物評は全体的に辛口であって、実力者であった道長をはじめとする貴族たち、また天皇に対しても痛烈な批判が記されているそうじゃ。道長の日記である『御堂関白記（みどうかんぱくき）』や藤原行成の『権記（ごんき）』とともにこの時代を知るうえでの重要な資料とされておる。例えば、

- 寛仁二年十月十六日の記述では、土御門殿で開かれた中宮藤原威子の立後の式典と、その後の祝宴について書かれている。この日、道長は「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 虧（かけ）たることも なしと思へば」という有名な和歌を詠んだ後に、実資は道長から返歌を求められたが、「御歌優美なり」と答えて列席した公卿たちとともに唱和することを提案した。この歌は後に道長が権勢を誇った歌であるとして考えられており、実資の行動も道長を批判したニュアンスが込められていたものであるとするという解釈が一般的に取られてきた。一方で倉本一宏氏は「たんなる座興の歌」であり、道長にも実資にも深い意図があつての行為ではないとしているそうじゃ。

【参考】Wikipedia、Yahoo!ニュース、朝日新聞



実資役の秋山竜次さん



普段の秋山竜次さん



2024 トンネルイルミネーション見学会

UP

こんにちは！今回は、2024年12月14日に開催された「みえ松阪マラソン 2024」のトンネルイルミネーション見学会に参加したので、その様子を報告します。このイベントは、松阪市の阿波曾蛸路トンネルで行われ、参加は無料で、誰でも気軽に楽しむことができるということで、昨年に引き続き開催されました。

トンネルに入ると、まず目に飛び込んでくるのは、青い光で照らされたトンネルの内部です。壁にはプロジェクションマッピングが施され、さまざまな映像が映し出されていました。光のトンネルを歩くと、まるで別世界に迷い込んだかのような感覚を味わえます。特に、トンネルの奥に見える光は、深みを感じさせ、訪れる人々を引き込む魅力があります。

見学会には、家族連れや友人同士、カップルなど、さまざまな人々が参加していました。皆さん、イルミネーションを楽しみながら、写真を撮ったり、友人と会話を楽しんだりしていました。特に、子供たちの笑顔が印象的で、彼らにとっても特別な体験になったことでしょう。私も周りの人々と交流しながら、楽しい時間を過ごしました。

トンネル内は風もなく暖かく寒さを感じませんでした。昨年に比べイルミネーションは洗練された感じがしましたが何か物足りない印象を受けました。昨年同様に各団体等の応援メッセージをもっと増やしたほうが良いかと感じました。

ランナーにとってはじっくり見る余裕はないかと思いがが・・・



編集後記



新年明けましておめでとうございます！希望と期待に満ちた新しい年がやってきました。昨年は忙しさにまけて運動不足になってしまったので、今年は定期的に運動をする事を心がけようと思っています。

皆さんにとっても素晴らしい一年になりますよう、本年もよろしくお祈り致します。



CTF 通信第 262 号

2025年（令和7年）1月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 山田 則 男

住所 〒515-0083

松阪市中町 6-9-1401

電話 0598-26-6333

<http://ctf-matsusaka.sakura.ne.jp/>